

未来の学校創造プロジェクト

(仮称)くにも学園基本構想  
策定に向けて

令和4年9月2日 基本構想策定委員会資料  
国見町教育委員会



## これまでの取り組み

- ・平成24年4月 小学校5校が**国見小学校に統合**
- ・平成25年3月 季節保育所を閉所、**藤田保育所が1つに**
- ・平成25年4月 幼稚園2園が**くにみ幼稚園に統合**



**保育所・幼稚園・小学校・中学校がすべて1校ずつ**  
**0歳～中学校卒業まで 切れ目のない教育**



- ・平成26年12月 **国見学園コミュニティ・スクール**
- ・平成27年 4月 **地域学校協働本部事業スタート**



**保幼小中連携型一貫教育**  
**社会に開かれた学校、地域とともにある学校**

## 現在の状況

### ①少子化の進行

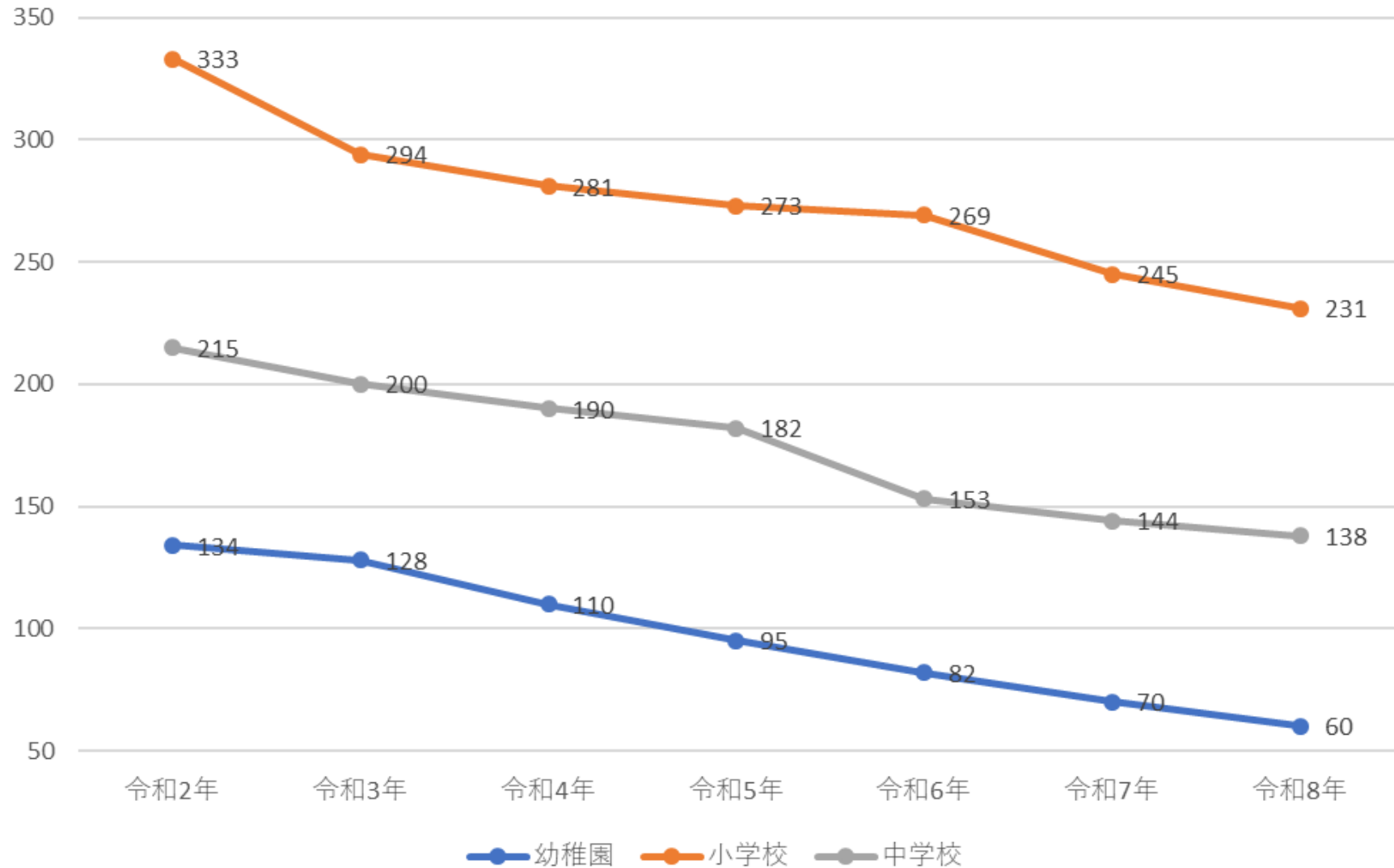
- ・ 国見小学校児童数 平成24年 483人／18クラス  
令和 4年 272人／12クラス  
令和14年 149人／6クラス(推定)  
※普通学級

### <課題>

- ・ 児童生徒数の減少 ⇒ クラス数と教員数の減
- ・ 中学校は教科担任制 ⇒ 5教科担当教員の確保難
- ・ 小学校学級担任制 ⇒ 高学年の教科担任制へ移行
- ・ 小1プロブレム ⇒ 集団生活になじめず集中できない
- ・ 中1ギャップ ⇒ 環境変化になじめず不登校

# 幼小中に在籍の児童生徒数の推移

参考





## ②子育て世帯の状況

- ・ 共働き世帯の増加や女性の社会参画
- ・ ひとり親家庭や支援の必要な家庭の増
- ・ 地域のつながりの希薄化

### <課題>

- ・ 子育てに不安(育児、経済的、核家族)
- ・ 保育ニーズの増(子育て支援)
- ・ 地域ぐるみでの子育て支援、見守り



### ③教育施設の老朽化

- ・ 幼稚園、小学校、中学校 ⇒ 築30年～40年以上経過
- ・ 東日本大震災、福島県沖地震の被害

#### <課題>

- ・ 大規模改修や耐震工事を実施、毎年の修繕費用も増大
- ・ 新しい時代の学び、ポストコロナ時代には不適合
- ・ 安全面からも大規模改修もしくは建て替えが必要



# (仮称)くにみ学園基本構想策定へ

- ・ 保育所、幼稚園、預かり保育 ⇒ 認定子ども園
- ・ 小学校、中学校 ⇒ 義務教育学校(小中一貫校)
- ・ 学童保育 ⇒ 児童クラブ
- ・ 給食センター ⇒ 自校方式



**すべての施設を同一敷地に一体的に整備**

**20年後・30年後の未来を生きる力を育み  
国見町を想い、記憶に残る学びを届けたい**

## 基本的な要素

① 認定こども園(預かり保育含む)、  
義務教育学校、児童クラブ、給食施設



すべての施設を同一敷地に  
一体的に整備

② 新しい時代の学び

- ・ 「探求の学び」
- ・ 「個別最適の学び」 「協働の学び」
- ・ 「保幼小中が連続した学び」



教育課程の十分な検討

③ 国見ならではの学び

- ・ 「くにみ学園」としての学びと施設の  
在り方



連携した施設づくり

④ 学校を核とした地域づくり

- ・ 「コミュニティ・スクール」 「地域学校  
協働本部」を継承



社会に開かれた学校・地域  
とともにある学校



# 目指す姿

## 「国見学園」がスタートしました!

国見町はコミュニティ・スクールを基盤とした保幼小中一貫教育に取り組んでいます

### ★コミュニティ・スクール

くのみ幼稚園、国見小学校、東北中学校は、国見町教育委員会よりコミュニティ・スクールの指定を受けています。

コミュニティ・スクールとは、地域に開かれ地域に信頼される学校づくりを進めていくための仕組みです。コミュニティ・スクールに指定された学校には学校運営協議会が設置され、委員（保護者や地域の代表等）が、各学校の運営の基本方針を承認したり、教育活動に意見を述べたりします。

### ★「国見学園」構想

町に幼稚園1園、小学校1校、中学校1校という教育環境のよさを生かし、くのみ幼稚園、国見小学校、東北中学校の3つの学校運営協議会を一体的に運営するために国見学園コミュニティ・スクール委員会を設置しています。

国見学園とは、保育所も含め、町の幼稚園、小学校、中学校を1つの集合体と見なした呼称です。国見学園構想には、町の新しい教育環境の誕生に伴い、「国見の子は一つ」という信頼関係、共同体意識を育てていこうという願いが込められています。

## 一貫校化

「12年」カリキュラム

一体型複合施設

国見学園コミスク

「3-6-3」制  
からの解放

日常の「こども」間  
交流

日常の「学校」間  
交流

日常の「おとな」間  
交流

児童・生徒の間で、先生方の中で、住民・企業の間で、かつ三者の間で、  
「信頼関係」「共同体意識」を醸成

「国見の子は一つ」の真の実現

# 学園構想策定に向けて

## ◆教育委員会で草案を作成中

### 【主な項目】

- ・新しく「一体化」施設を建設する理由
  - ・旧国見小学校跡地、旧県北中学校跡地の活用予定
  - ・基本方針
  - ・教育計画の方針
  - ・施設計画の方針
  - ・施設計画の組み立て
  - ・配置計画・平面計画
- ※章立てとは一致しません。



## ◆地域活性化起業人制度を活用（総務省事業）

⇒教育等専門的知見を持つ企業の支援を受け、構想作成。

### 【地域活性化起業人】

- ・株式会社内田洋行（教育施設等モデル事例紹介）
- ・株式会社船場（施設計画の検討）
- ・デロイトトーマツ（教育ブランディング、WS補助、資料作成補助）

## ◆ワークショップの開催

- ①教育委員会事務局（5/24）
- ②起業人とキックオフ（6/1）
- ③コミュニティスクール委員会（7/7）
- ④町教育研究会（幼稚園、小学校、中学校の先生）（7/21）

⇒子どもへの思い、教育への思いをディスカッション

- ⑤町内一般から募集（10月から複数回予定）
- ⑥小学校4年生～中学生から募集（10月から複数回予定）

⇒こんな学校がいい、こんな学校に行きたいをディスカッション

## ◆シンポジウム、講演会等の開催

## ◆基本構想策定委員会の開催

第1回会議（9/2、以降複数回予定）





# 策定委員会にかかる今後のスケジュール

実施時期	開催回	議題（予定）
9月2日	第1回	基本構想策定の趣旨や背景説明 育てたい子ども像の意見交換
9月下旬	第2回	教育環境の現状や課題把握状況の共有 意見聴取
10月上旬	シンポジウム ワークショップ第1回	保育・教育計画の在り方に係るテーマ
11月上旬	第3回	WSの結果報告 結果を踏まえた観点に関する保育・教育計画 の在り方協議 建設候補予定地について
11月中旬	ワークショップ第2回	保育・教育施設環境の在り方に係る テーマ 建設候補予定地について
12月上旬	第4回	WSの結果報告 結果を踏まえた観点に関する保育・教育環境 の在り方協議
1月下旬	第5回	基本構想の合意形成